

## 技術評価報告書

申込者： 株式会社 向山工場 代表取締役社長 向山 寧  
埼玉県久喜市河原井町1番地

技術名称： エムケーフープ685、エムケーフープ785 設計施工指針(2026年)

当法人「建築構造技術審議委員会」において慎重審議の結果、2025年12月15日付けの技術評価書(SABTEC 評価 24-03R2)の通り、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、本技術は妥当なものであると判断されたことを報告する。

2025年12月15日

一般社団法人  
建築構造技術支援機構

代表理事 益尾 潔

### 建築構造技術審議委員会

委員長	窪田 敏行	近畿大学	名誉教授
副委員長	田才 晃	横浜国立大学	名誉教授
委 員	磯 雅人	福井大学大学院工学研究科	教授
〃	岸本 一藏	近畿大学建築学部建築学科	教授
〃	田中 剛	神戸大学大学院工学研究科	教授
〃	都祭 弘幸	福山大学工学部建築学科	教授
	三谷 勲	神戸大学	名誉教授



## 技術評価書

申込者： 株式会社 向山工場 代表取締役社長 向山 寧  
埼玉県久喜市河原井町1番地

技術名称： エムケーフープ 685、エムケーフープ 785 設計施工指針(2026年)

技術概要： エムケーフープ 685、エムケーフープ 785 は、大臣認定を取得した MK685、MK785 を用いた高強度せん断補強筋であり、エムケーフープ 685、エムケーフープ 785 設計施工指針(2025年)は、エムケーフープ 785 を用いた円形断面柱、梁と基礎梁実験を基に、日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説 2018」に準拠した許容応力度設計、ならびに荒川 mean 式または修正塑性式による終局強度設計を行うことを基本とし、10 章に場所打ち RC 杣のせん断設計を追加することで、エムケーフープ 685 設計施工指針(2024年) (SABTEC 評価 24-03 : 2024年9月26日) を改定している。また、エムケーフープ 685、エムケーフープ 785 設計施工指針(2026年)では、平成30年8月8日付け大臣認定(認定番号 MSRB-0116)を取得している高強度せん断補強筋用異形棒鋼 MK785(朝日工業)を適用範囲としている。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2025年12月15日

一般社団法人  
建築構造技術支援機構  
建築構造技術審議委員会  
委員長 窪田敏行

### 記

評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。  
エムケーフープ 685、エムケーフープ 785 設計施工指針、実験説明資料  
これらの資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。

評価内容： エムケーフープ 685、エムケーフープ 785 を用いた鉄筋コンクリート造柱、梁は、長期荷重時に使用上支障を来たすひび割れおよび短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起こさず、エムケーフープ 685、エムケーフープ 785 設計施工指針に定められたせん断終局耐力を有すると判断される。

## 技術評価内容

申込者 株式会社 向山工場

代表取締役社長 向山 寧  
埼玉県久喜市河原井町1番地

技術名称 エムケーフープ 685、エムケーフープ 785 設計施工指針(2026年)

### 適用範囲

(1) 適用部位 鉄筋コンクリート造柱、梁、場所打ち鉄筋コンクリート造杭

(2) 材 料

せん断補強筋 呼称：エムケーフープ 685（種類 MK685）  
(大臣認定番号 MSRB-0137、令和6年9月8日)  
呼び名：MA10, MA13, MA16  
呼称：エムケーフープ 785（種類 MK785）  
(大臣認定番号 MSRB-0067、平成23年4月28日)  
呼び名：MD10, MD13, MD16  
(大臣認定番号 MSRB-0116、平成30年8月8日)  
呼び名：MD13, MD16

コンクリート 種類：普通コンクリート  
設計基準強度：21 N/mm<sup>2</sup>以上、60 N/mm<sup>2</sup>以下

### 技術評価の主な審議事項

- エムケーフープ 785 を用いた梁、柱の損傷短期許容せん断力の妥当性
- エムケーフープ 785 を用いた梁、柱のせん断終局耐力、変形性能の妥当性
- エムケーフープ 785 を用いた基礎梁横補強筋のフック付き重ね継手の妥当性

### 技術評価に際して行われた実験等の概要

エムケーフープ 685 を用いた RC 円形断面柱(5 体)、RC 梁(6 体)、基礎梁(4 体)ならびに  
エムケーフープ 785 を用いた RC 円形断面柱(7 体)、RC 梁(6 体)、基礎梁(4 体)の実験を基  
に、エムケーフープ 685、エムケーフープ 785 設計施工指針の妥当性を確認している。

### 技術評価の経過

2025年12月15日開催の第69回建築構造技術審議委員会では、申込者提出の技術資料に  
について慎重に審議を行い、内容を検討した結果妥当なものであると判断した。

以上